

平成31年(令和元年)度心の復興支援事業交付対象事業者一覧表

番号	事業名	応募団体(事業実施主体)	事業目的・概要	交付決定額
1	被災者と地域住民コミュニティのIT活用による絆づくり	公益財団法人仙台応用情報学振興財団	復興地域に移住する被災者や既住民を対象として、地元住民相互の絆づくりや自治会役員との交流を深めて地域の活性化につなげる事を目的として、復興地域の自治会長および社会福祉協議会の協力を得て、パソコン(Word、Excel)、インターネットの利用方法、タブレット・スマートフォンの簡単な使い方を教室と茶話会的な交流会を開催する。	2,000,000
2	避難者が多く住み、高齢化率38.6%の鶴ヶ谷の健康寿命を伸長し、再び明るく元気な街へ	つるがや元氣会	家に引きこもりがちになる高齢者も、外に出やすくなる、出たくなる仕組みを考え、実践する事で、大震災の被害に負けず、一時も早く立ち直り、明るく元気のある、住んでいて良かったと思う町にする。	2,000,000
3	「心と身体・食」を通じて3つを作る～寄り添い・関わり・生きるための交流～事業	特定非営利活動法人スマイルシード	一人一人の暮らしの中で得意や技術を活かして、被災者が主体的に参加し、地域との繋がりを深め、生きがいと共に高め合うためのキッカケと地域の人々が互いに支え合う力を構築する。そのための仕組みづくりを目的とした(1)自分たちで考え実践するための住民会議(2)継続的な伝統文化作品である和布を使った「吊るし飾り」のアレンジ作品づくり(3)心と身体に嬉しい地元食材を活かした素材や季節野菜を活用した家庭料理をつくり孤立や孤独感をなくすための「地域ふれあいカフェサロン」を開催する。	2,000,000
4	人の五感を刺激することにより心と体を再生する	一般社団法人復興支援士業ネットワーク	震災以後、体調を崩し自宅に引きこもっている方の大部分は心身や経済的にストレスを感じていることが多い、専門家が心身(具体的な医療部分は除く)に関するアドバイスをする。また、1日農業体験やイベント・講座を通じて、「楽しく・美味しく」農にふれ、学ぶことを通じて新たな生きがいを感じてもらう。	1,902,000
5	MIYAGIの子ども支援・心の復興支援事業「豊かな遊び、広がる仲間！」	特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワーク	(1)厳しい環境の中で暮らしている被災地(多賀城市)の子どもたちに、多様な遊び・体験の場(機会)を提供することにより、子ども一人一人が「子ども時代」をしっかりと楽しむとともに、親子の絆を深めることができるように支援する。(2)学校や放課後児童クラブの枠をこえた遊び・体験の活動を通して、子どもたちのコミュニケーション能力を一層高めるように支援する。事業の実施にあたっては、被災地の子どもたちやその保護者が主体的に活動できるように事業内容・方法・スタッフの役割分担等を工夫していく。	800,000
6	被災者支援・ふるさと東北支え合い運動	特定非営利活動法人仙台明るい社会づくり運動	①復興住宅でのお祭り開催支援(地域活性化)②地域コミュニティ支援による地域活性化(まちづくり)③災害復興住宅での趣味の会支援(ものづくり)④復活住宅での映画鑑賞会支援(地域活性化)⑤東北以外住民と被災者の交流(震災風化防止、震災教育)⑥東北以外の住民の漁業体験(震災風化防止、水産業)	1,998,000
7	想いをつなげる新たなコミュニティ創生プロジェクト(第2期)	一般社団法人COMMONS	震災後の新たなコミュニティにおける地域住民の自主的な取り組みを育み、支えていくことにより、住民自身がそれぞれの立場で主体的に課題解決していく良好なコミュニティの形成とその安定化を目指すことを目的とする。本目的を達成するために、地域住民の想いに基づく地域資源を活用した体験活動、その他、地域の課題に合わせた多世代交流事業等、住民自身が主体的に担おうとする様々な社会貢献活動について、企画段階から実施、将来的な自立化までをサポートしていく。	3,307,000
8	～輝くイベントで、聞き取り調査と、子どもの心のケア～事業	チャイルドネットジャパン	これまでの活動の中で、関係を築いてきた塩釜市・女川町、そして石巻市で、子どもたちが気軽に集まれるイベントを開催し、震災時のことや、今感じることなどを話してもらい、心の変化を見ます。イベント時にインタビューすることで、普段は閉ざしている心の隙間から、本音の音が聴けるからです。また、親御さんや地域の方からお話を聞き、傾聴ケアを行いながら、その内容をまとめ、被災地内外へ発信をしていきます。	1,770,000
9	地域資源、地域人材と連携した復興人材育成事業	一般社団法人クリエイタス東北	震災後南三陸町の人口は約30%減少しており、町の復興をリードしていく人材を育むためには、小学校・中学校段階から地域資源(人・モノ)に触れ、地域人材とともに地域について考える機会が重要である。本事業では、南三陸町内の「中学生」を対象に、南三陸町や地元事業者、地域住民と連携し、町の子どもたちが地域の魅力に触れ、さらに町を復興させるための企画・アイデアを地域の大人の伴走のもと考え、復興人材育成のための「地域課題解決型学習」を実施する。	1,962,000
10	高校生による地元産品を使った6次化商品製作プロジェクト	一般社団法人Bridge for Fukushima	本事業では、被災地宮城の高校生を対象に、地域産品を用いた6次化商品開発によるアクティブラーニングを実施します。具体的には、各学校で高校生が通年の事業で、模擬会社を設立し地域の特産品を使い6次化商品開発の一連のビジネスの過程を企業やNPOを地元の方等を講師を迎え行い、最終的には仙台や東京で販売会を実施します。被災者である高校生が、自ら地域産品を知り商品を開発しそれを販売することで、宮城県産の農業や特産品を実践的に学び、高校生が中核になって被災地の産品のPRを行うことを目的とします。	1,985,000
11	「あそびーばー」は「あそじいーばあー」	一般社団法人気仙沼あそびーばーの会	①子ども食堂の活動を通して、子どもの食・心の貧困を解消することを目指す。②「匠なすびの会」の活動が地域住民の交流促進・生きがいづくりの創出に繋がる。③農作業が地域の子ども・大人の参画を得て行われ、多世代交流の場となる。④出前遊び場を実施し、団体活動を広く周知すると共に、外遊びの大切さを啓発する。	1,033,000
12	石巻圏域の復興住宅でのコミュニティ形成支援事業	特定非営利活動法人石巻復興支援ネットワーク	石巻市およびその周辺の復興住宅集会所にて、住民参画型のサロンやイベントを継続開催する。また、イベントやワークショップを被災地住民と協働開催することを通じて、被災者との交流や被災地・被災者の復興に貢献したいという個人やグループと住民のニーズとをコーディネートし、住民とボランティアとの心の通い合いを築くとともに、震災の風化防止に繋げる。	3,500,000
13	『食』でつくる地域コミュニティと『食』でつながる地域交流事業	一般社団法人ワタマスマイル	本事業では、石巻市東部地区にある黄金浜災害公営住宅(165戸)、東松島市の東本町北地区災害公営住宅(307戸)、女川町の女川住宅(災害公営住宅86戸)の3市町3地域で災害公営住宅などへ新しく移り住んだ住民同士の『交流の場づくり』や子どもから高齢者まで幅広い世代の『世代間交流』、従来からの住民と新しい住民との『地域とのつながりづくり』、さらに『新しいコミュニティ形成』に結び付けていくことを目的とした「料理教室」を各地域で毎月1回開催していく。さらに、各地域の伝統食やその地域ならではの地域料理を互いに学び交流する機会を提供し、異なる地域の被災者同士の交流を図っていく。	2,329,000
14	仙台市若林区沿岸部の農業・農村再生プロジェクト2019	一般社団法人ReRoots	若林区六郷東部地域は、震災による内陸移転および東六郷小学校が閉校したため子どもや親世代が流出し、約500世帯から約200世帯にまで激減した。地域の高齢化率は39%となっておりコミュニティは希薄化し、農家の平均年齢は約66歳を超え担い手不足が深刻化している。そこで1)被災住民のやりがい・生きがいの場をつくらせてコミュニティのつながりづくり、2)今後の地域の農業を担う若手農家を支援し農業再生を目的に事業を実施する。	947,000
15	被災地の子どもと親・シニアのためのプログラミング教室事業～プログラミングで「ふれる」「かかんがえる」「まじわる」の風を起こそう～	特定非営利活動法人Synapse40	各地の災害公営住宅等を中心とした子どもと親・シニアを対象にして「ふれる」「かかんがえる」「まじわる」をコンセプトにした「子どもと親・シニアのためのプログラミング教室」を大崎市・石巻市・名取市で開催する。PCを使わなくてもプログラミングの基礎を身体で学べるプログラミング学習用ロボットPETS(ペッツ)、走らせたりゲームをしたりプログラミングすることで遊び方に自由度の高いロボットボールsphero(スフィロ)、創造的で可能性が無限大のmicro:bit(マイクロビット)を使う。その学びの成果を発表する「2020ものづくりアワード」を開催する。	2,000,000
16	交流促進による生きがい作りと地域課題解決の復興まちづくり事業	特定非営利活動法人故郷まちづくりナイン・タウン	沿岸部被災地域からの住民や内陸部の住民が相互交流できる手創り交流市やワークショップ、農作物による交流会、企業等と連携した手作りランチの会、移動交流会、空き家を活用した仕事場と交流場の創出やまちづくりの情報共有プログラムを開催。	3,495,000